

新しい大泉

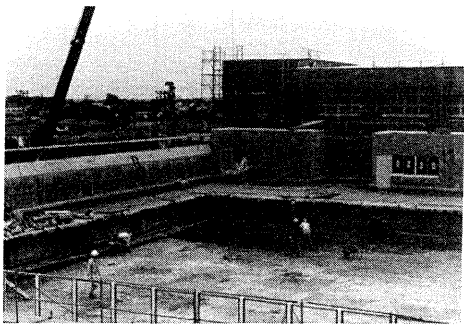
改築ほぼ完成

去年の12月に着工した第二期工事、体育館、音楽・プール棟が完成し、大詰めをむかえた。

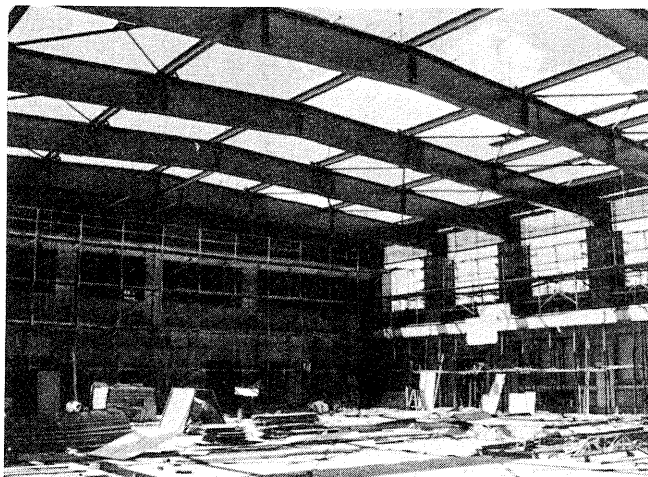
体育館は、以前のものと比べ広く、三階フロアはバスケットコートが二面、バレーコートが二面、バトミントンが六面とれる。他に二階には柔道場、剣道場兼トレーニング室、男子更衣室があり、二階は女子更衣室、体育教室などになっている。四号棟は一階と二階でつながっており三階は非常用となっている。四階はギャラリーになっていて卓球台が常備され昼休みなどに開放されている。

その他新しい設備としてバスケットゴールが、リモートコントロールで操作できる他、柔道場もクッションのためのスプリングが入っていたり放送施設等も、完備されている。プール棟は一階が音楽室、会議室で、音楽室は音響効果が良くなるようにつくられているとのこと。プールの方は縦二十五メートル、横二十メートル、十コースと都立高校としては一般的な大きさのため水溜がステンレスでできている。

プールを今後どのように活用していくかについては、未検討というところである。ただ「運動部のトレーニングなどとして使用できないのか」という質問には、プールの操作のできる



者がいなければ無理ではないかというところである。尚、体育館等の施設は、オリエンテーションでの注意を守り、大切に使用して欲しいとのことだった。



ここで、今までの改築工事の過程を追ってみよう。

まず第一期工事の着工は昭和57年11月で、今の一号棟東半分、玄関、四号棟の工事が行われた。58年に入ると基礎

広大なキャンパス

横浜国立大学

横浜新道のバス停を降りると、道路をはさんでただっ広いグラウンドと森しか見えない。たった一人不安にかられながらも、大学生風の人間を見つけて、ついでに行った。森を右廻したら裏口があった。この森も、横国の敷地だったのだ。

大泉高の10倍の広さのキャンパスには、教育学部、工学部の真っ白い棟が古城のように建っている。総合大学として創設されたのは昭和24年だが、ゴルフ場跡地に移転統合したのは昭和54年のことなので、建物はモダンなつくりの上、最新の設備が整っている。工学部などは、全国有数の設備



ついで買いたくなり、ピンクレディーとゴダイゴのLPを半額以下で買ってしまった。(何をしに来たんだろ?) カップラーメン早食い競争には色々な学部の人々が参加していた。集まっている人達を見ても、男性の方が多い。そういう学部が多いのだから、当然と言えば当然だが、「やけどなんて2日で治るぜ!」「味わって食うなよ!」応援

奮起せよ全校生徒!

生徒委員会は今

現在の生徒委員会は、三年生が登録していないが、二年だけで四十人がいるはずである。しかし約一、二割の人が出席をしていない。生徒総会に次ぐ議決機関であるべきは、生徒委員会が、このていつの自由自治が失われてしまっているのではないだろうか。なぜこの様な現状にいたってしまったのか。

生徒委員会の存在意義を考えてみる。①生徒全員と執行との橋渡し。②学校全般の問題の改善。③各H R内にある問題を全員で考える。などいろいろと挙げられると思う。しかし現在①に値することすらできていない。三年生が登録していないが、二年だけで四十人がいるはずである。しかし約一、二割の人が出席をしていない。生徒総会に次ぐ議決機関であるべきは、生徒委員会が、このていつの自由自治が失われてしまっているのではないだろうか。なぜこの様な現状にいたってしまったのか。

僕のHR合宿日記

今年度のHR合宿は、10月9日から11日までの3日間、岡山県倉敷市にある石山花壇という旅館を拠点に行われた。9日、朝7時東京駅発の新幹線に乗り、6時間あまりで広島に到着。それからバスで広島市内を観光し、原爆ドームや平和公園を訪れた。そこは広島市民の平和への願望の結果であり、鳩が飛びかうとても、静かな所だった。10日、前日はこの学校でも行っている行動だったが、本日は大泉ならではの自由行動の日である。と言ってもグ

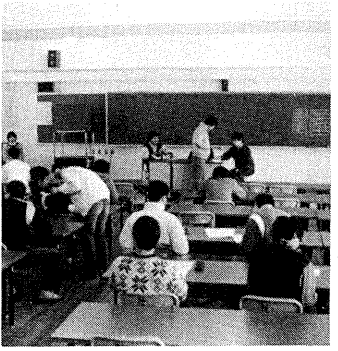


私の体験報告

冬休みに喫茶店でウェイトレスのバイトをした。いろいろなことを初めて体験し、たいへん楽しい毎日だった。朝早く行けば、トーストに卵に3日間では短か過ぎるHR合宿だが、皆思い出多い旅となった。一年生の諸君も、来年もつと良い思い出を...

団体交渉開かる

去る一月二四・二五日に来年度各委員会や部・同好会に配分される予算の為の団体交渉が行われた。各団体の代表二名と査定委員一ないし二名間で交渉は行われる。今年度は、交渉時間も最高で約五十分と順調に進んだ。(二・三時間かかることもあるそうだ)二・三の団体は多少査定委員の思惑とは違った所もあったが、大泉は、比較的問題のない良い学校であろう。しかし全ての生徒がよいと思っている所とよくないと思っている所があるはずである。その学校全体をながめて、よく



員以外でも参加することは、いくらでも方法があるはずである。例えば、この新聞に投書したり、執行委員になったり、生徒委員会を傍聴という形で出席し、発言を希望してみてもよいのではないかと、一人一人が奮起しなければどうしようもないのではないだろうか。

投書

生徒役員に一言

生徒委員役員は、今何をやっているのですか。僕は生徒委員会に出席してみたりして

いつも思うことですが、後期の最初ぐらいに役員を各学年二人ずつ選出してから何もやっていない様に見えるのですが。役員召集の放送をよく聞くことがありますが、そうするとあ、何かやっているんだなあ、とは思っているのですが、表面的には何も変わっていない様な気がします。前号の新聞で読んだ時に、前期の委員長さんは「HRとの結びつきを強化する」という様な事を言っていたと思いますが、しかし現実にはどの様に強くなったのでしょうか。確かに出来たのが一学期の終わり、まだ「改善の途中である」とは思います。けれど、もっともっと積極的に改善案を委員会自体に出して行ってもよいのではないのでしょうか。例えば、生徒委員会自体が一ヶ月に一回ぐらいの割合でその月の内容を報告するためにわら半紙の新聞を作ってみる。とか、放送による連絡を行ってみるとかいうことをやってみたら、さらにHRとの結びつきが強くなるのではないのでしょうか。結局、役員は、出欠を取るなどの具体化したものしか実行してない様に思えます。そんなことは、そのうちに役員とは有名無実の存在となってしまうのではないのでしょうか。

3 年中村千春

一年生の時の一学期の新聞
印刷してくださいました。

文化祭準備に追われてい

「私は数学が大の苦手で、その頃には、一年生の春

「はい」私は数学が大の苦手であつて、お説教だと思つて、青くなつてすつとんで行きました。待つていたのは当時顧問の吉野先生で、「文化祭について、記事書かない?」「へ?」入間市で行われた演音祭で、午後になるとみんなあたり前のように帰つてしまふ様子を見て啞然としました。先生に

その頃には、一年生の委員は私しか残つておらず、もしも、吉野先生の働きかけがなかったら、私は、別のことを始めていたかも知れません。その頃までの新聞は、雑誌的要素が強かつたようです。見開き2ページにデンと大泉高周辺の地図を書くとか、喫茶店マップを一面使って特集

二十数年の新聞委員会で

る努力をわかつとはせず

幸才才ない努力

10万馬力が5万馬力

ますが、10万馬力が5万馬力になったことに気がつかず、プロレスで危うく壊されそうになります。私のやってきたことも、これと同じです。新聞だけに力を注いでいれば、もっと質の高い新聞ができたでしょうし、委員会の活動もきちんと組織化することができたはずですよ。しかも思考力

それでも、色々努力はして

その原稿に「没」の判決を

[illegible]

母の背後に隠れ、それで

母の背後に隠れ、それで好奇心抑へ難く覗いていた外、い日のまに、臆病で、想像の中で恐怖していた性向は現実と虚構と形は変えなが青年期に持ち越され、私は「青春の世界」(茅盾・小説)の住者であった。そんな少女はもろに現実とのかかわりの前

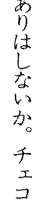
あれば書いてしまつし、深

新聞にこだわる理由は、記

[illegible]

はありはしないか。チェコの人形劇は相継ぐ侵略の中でいつも人々の代弁者だった。統制の厳しかった江戸

源
光
子



禁止になれば、すぐ次の手を
考え、カモフラージュして
抜け抜けと上演する。
大学は封鎖された。三年半
ほどで正常な大学生活は失われ
た。大学移転という私の手に
負えない問題、どの言い分も
その立場で考えようとするこ
なるほどと思えてしまふ。や

その立場で考えようとするとな
るほどと思えてしまふ。や

映
画

A stylized illustration of a vintage movie camera mounted on a tripod, positioned next to a simple movie chair. The camera is angled towards the right, and the chair is facing forward. The entire illustration is rendered in a simple, line-art style.

2026年（製作当時から）
入れられていたのである。

ちやうど百年後、繁栄の絶頂期だが、少数のエリートが大多数の労働者を支配しているメトロポリスが舞台。技術の発達していない合成画面を見ながら、最新の特撮に見なれている世代が、果たしてこの古い世に堪えられるかと不安に思っていたが、その心配は無用であった。声に頼らない演技、色に頼らない迫力ある画面作り、そこにも、最新の技術が取り

エリート階級のフレダール何の疑問を抱くことなく、日を楽しんでいた。ある日労働者階級の美しい娘マリアを見かけ、恋に陥ってしまった。マリアを求めて地下工場に入り込むフレダール、そこで彼人間が機械に操られてでもるかのように働かされている有様を見るフレダールの父（メトロポリスの支配者）は、リアが労働者達から慕われ

いることを
り、ロボツ
の偽マリア
つかつて支
させようと
てるが、勝
に動き出し
マリアは、
働者を率い
反乱を起こ
機械が壊さ
洪水が起こ
……。全て
終り、フレ
一の父は自

方に問題はあったのだらうが、自分で理解し切れないものに賛否を示せよう苦もなく達を失った。

今、不惑を前に、精神の遅る進歩に比べ、風袋のいは

の誤かを認めて立ちすくむマリアはフレダーに言う。「あなたが仲介人になってあげ親ていううちに、モノ黒声映画であることを忘れてまった。それほど、この映は観る人を魅きつする。そ

理由の一つに、フリッツ・
ング監督が美術学校と科学
術学校を卒業していること
にあると思う。飽きさせない
面を作るのである。工場で
即行動につながるし、晩生
意識がガサツと落ちて、思
いのようにも思う。不様な自
己が一番くつろいで闊達な自
己に変わったことか。一方で、

私だが、自分なりに、ほん
少し全体が見えるようにな
た。もっとも「こころ」の
機械などは、何を作ってい
のかさっぱりわからないテ
トウな機械だが、バカでか
機械に休む間もなく働く人
の様子は、視覚に強く訴え

は所詮そのようなものかも知れないが。

(本校国語科)

またテレビ電話がでてき
のには驚いた。図書室で当
の日本の様子を調べてみた
1906年の電話加入台数
18万、1924年には87万

1926年というところ、ちょうどNHKラジオが開局された頃で、テレビはその30年後に登場する。ドイツの様子は調べられなかったが、大きな差は、倒産、フィルムも上映権もバラバラに散在する結果となった。これを、私費まで投じて買い集めたのが、今回上映の総合プロデューサー、ジ

はないだろ。20世紀も終りに近づいている今日でさえ、テレビ電話は身近なものとなっていないのに、19世紀に生まれたラング監督に想像できたことは驚異である。

ヨルジオ・モロダーである。多少の効果音とコンピューターによるカラー処理（といってもブラス一色）と、音楽が挿入されて、メトロポリスは甦った。全てロックで仕上

無声映画は、字幕を沢山入れるわけにもいかないため、今の映画よりもほかに表現力が要求される。無声映画といえはチャップリンぐらいしか見たことがないが、恐らく

「ダンス」を手掛け、オスカー

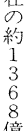
メトロポリスは優れている方
だろう。

製作費4000万マルク

を受賞したモロダーならではの
技であろう。

(C)

（現在の約1368億円）をかけて誕生した映画だが（ちなみに東京デイズニールランドは一兆円余り）、負債を回収しき



西武池袋線江古田駅の近くのミュージックゲイトという喫茶店にはとても大きなパフ

Music Gate

寒いと言って震えだし断念。記者Sは初めからあきらめ、カフェオレをすすっていた。

江古田に寄つたら一度この
パフエ、試してみてもどうだ
ろう。

ブルーベリー・ストロベリー・チョコレート・キウイの四種類があり、値段はどれも550円。上から下まで23cmである。このパフェには生クリーム

	S	40	年
	414,	571	
	236,	170	
	22,	375	
	9,	235	
	8,	640	

23年からは昭和間の新もの。新載つたは新聞の計

ムはのつておらず、器に盛られたソフトクリームであるかのようだ。コーンフレックやポッキーが入っているのを「ごまかし」と感じるかもし

注・学校祭は執行

	S	39	年
	362,	794	
	186,	764	
	78,	765	
	17,	200	
	9,	370	
を発行。	ブ	六	45
	ロ	回	年
	イ	の	頃
	ド	タ	ま

れないが、食べてみるとアイ
スに合っていておいし
い。

結局、最後までたいらげた
のは記者M一人きりで、記者
Kはあと一歩のところで寒
くなったことじゃないのだ。
わかって欲しいな！

委員 会 行 開 送 動 機 印 刷 費 が 高 い の は	(円)
委 員 執 新 放 運 保	今に始ま

Music Gate

寒いと言つて震えだし断念。記者Sは初めからあきらめ、カフエオレをすすつていた。江古田に寄つたら一度このパフエ、試してみてはどうだろつ。

編集後記

(円) 注・学校祭は執行の予算内		
委 員 会	S 39 年	S 40 年
執 行	362,794	414,571
新 聞	186,764	236,170
放 送	78,765	22,375
運 動	17,200	9,235
保 健	9,370	8,640

ったことじゃないのだ。
わかつて欲しいな！